

# EGC

# EG

# 強者

The  
Mint  
Collection



**EGC68-60**

¥60,000

Color:EB, VS, WH

ブラックヒューティなカスタンモデル。クラスをこえた、リッチなサウンドを持ち、エレキギターの王者にふさわしい、風格を備えている。



**EGC57-70**

¥70,000

Color:EB, WH

個性的なフェイスを持つ、カスタム3ピッキングアップモデル。ユニークなサウンドバリエーションを放出し、オリジナルなサウンドを生み出す。



**EG59-60**

¥60,000

Color:CRS, FBS,G

**EG56-70**

¥70,000

Color:G

**EG59-70**

¥70,000

Color:CRS

ミントコレクションにおけるサウンドの追求は、細部にまで渡る分析をもとにした完全なオリジナルサウンドのプロデュースにある。ソリッドボディでは、ボディに穴が全くないというのが理想的なのだが、どうしてもコントロール類などをマウントするスペースは必要である。従って、基本のサウンド送りにおいてネックのジョイント、ボディ部のスペースなどが極めて重要なポイントといえる訳だ。ミントコレクションではまずこの音の本質に鋭く入り込み、ホール加工を必要最小限に留め、ボディ各部分におけるレゾナンスを可能な限り滑らかに設定、ボディ全体のウエイトバランスとの影響により、良い音を生み出すポイントを確認に押さえている。サウンド追求のもうひとつのポイントといえはもちろんピックアップアップ。グレコのピックアップは全てボディとのマッチングを重要視し、ギターとの同時開発が原則、ミントコレクション開発によって生み出したスーパーピックアップの"DRY"、"SCREAMIN"は強烈な腰の強さとシャープネスに加え、ふくらみや豊かさを合わせ持つサウンドキャラクターを持ち、多くの楽器がそうであるように、サウンドに溶け込みながらもぐんぐんと突き抜けて来るサウンドを放つ。ギターをダイレクトにアンプにプラグインしたときに放出されるストレートなサウンド、そしてエネルギーこそが、グレコ・ミントコレクションの姿、そこにはギターリストとギターしが存在しないのだ。



鮎川 誠  
(シーナ&ザ・ロケッツ)